

**2025年度 織田調理師専門学校
学校関係者評価報告書
(令和7年度)**

評価対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日

**織田調理師専門学校
学校関係者評価委員会**

1. はじめに

2025年（令和7年）4月1日～2026年（令和8年）3月31日を評価対象期間とした自己点検評価報告をもとに織田調理師専門学校学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、ここにご報告いたします。

本校が社会および外食業界に対して高い価値を提供すべく、より良い教育を目指すため、委員の皆様にご評価とご意見をお伺いいたしました。学校関係者評価の結果を踏まえ、学校運営の更なる改善と教育の質向上に努めて参ります。

開催日：2026年5月25日（火）10：00－11：30

会 場：織田調理師専門学校 応接室

2. 学校関係者評価委員（敬称略）

氏名	所属	役職等	種別
山野 晴雄	多摩地区高等学校 進路指導協議会	顧問	有識者
桑原 幹雄			栄養士 元校長
大貫 晃司	小料理cafe 太田屋	経営者	調理師 卒業生

3. 自己評価に対する学校関係者評価委員の評価方法

学校より自己評価の各項目について評価委員に報告を行い、自己評価の評価点（3・・・基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている。 2・・・基準をおおむね満たす。 1・・・基準を満たしておらず改善が必要。）が適切か適切でないかを学校関係者評価委員3名よりそれぞれ評価をいただいた。
また、具体的な意見や提言もいただいている。

4. 自己評価に基づく学校関係者評価

項目1. 教育理念・目的・目標

評価の基準	自己点検 評価結果	委員の 評価
教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	3	適切3
各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられていること。	3	
教育理念やポリシーが学内外に広く公表されていること。	3	

【評価結果の自己分析】

- ・教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的、目標等をホームページやパンフレット及び学生のしおりを通じて明確に設定されており周知されている。
- ・各学科の教育目標及び育成人材像は 現場経験豊富な教員と業界で活躍する現役の講師による視点を取り入れ、業界のニーズに向けて方向づけられている。
- ・教育理念やポリシーは 3つのポリシーの再確認を行い WEBサイトで学校内外に広く公表されている。

【今後の改善方策】 *自己点検評価結果が2以下の内容について記述。

【学校評価委員の意見・提言】

- ・開校60年に近い歴史の学校なので、時代に流されることなく、教育理念をつらぬき通して欲しい。
- ・自己点検の中に「教育目的・目標をHPやパンフを通じて明確に…」とあるが、明確とは少々言えないと思う。パンフの裏表紙に教育理念や3つのポリシーを記載してはどうか。
- ・すぐれた人格と豊かな情操を有した人材の育成の自己評価は基準を上回っているとのことなので、引き続き指導願いたい。
- ・今の時代、型にはめるやり方はそぐわないとは思いますが、感情豊かな若者に料理の楽しさと厳しさを体験してもらう為にも、「守るべきことは守る」ということを、強く伝えて欲しい。
- ・食生活の向上に奉仕できる調理師として、技能はもちろんだが、衛生管理が料理の中で重きを置いていることを教示して欲しい。
- ・HPや学校案内に教育理念や目標に基づいて学校の特色が分かりやすく記載されている。
- ・「卒業までに全ジャンルを学ぶ」という特色のメリットも分かりやすく記述されている。できれば、その上で、2年制の調理技術経営学科と調理製菓製パン科がなぜ置かれているのかを、学校案内でも同じページに説明されているとより分かりやすくなるのではないか。
- ・ディプロマポリシーについては「調理・製菓業界の初期キャリアで必要とされる知識や技能を修得している」等、卒業時に求められる人材像を明示することが望ましい。

項目2. 教育課程、教育の実施、学修成果

評価の基準	自己点検 評価結果	委員の 評価
学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	3	適切3
授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3	
学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	3	
卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	3	
学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	3	

<p>【評価結果の自己分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の目的、目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成は 教育理念を基本としたカリキュラム編成がなされている。 ・成績評価・単位認定の基準は学則に記載されており、明確になっている。年2回の成績表を渡し学生に情報共有をしている。 ・職員による会議を何度も行い、学校の目的・目標人材像を実現させるための方針に基づき、しっかりとした卒業の認定がなされている。 ・学生の資質能力修得のためのカリキュラムやシラバスにそってポートフォリオなどの作成を促している。 ・現場経験豊富な職員や業界で活躍する現役の講師などのアドバイス及び指導により、学生が望む進路の実現を定めた目標が達成できている。
<p>【今後の改善方策】 *自己点検評価結果が2以下の内容について記述。</p>

【学校評価委員の意見・提言】

- ・教育課程の編成については、2年制が2学科、1年制が1学科と、進路選択には理想的な課程編成だと思うが、授業科目の面ではそろそろカリキュラムの見直しも必要だと思う。卒業生や飲食業界の人事担当者の意見を聴く等して検討して欲しい。
- ・昨今は引っ込み思案な学生も多いので、実習の際に各班の人員が平等に食材に触れられるように誘導して欲しい。
- ・学修成果目標については自己評価によると基準は上回っているとのことなので引き続きお願いしたい。
- ・全体としてきちんと教育課程にそって実践的な職業教育が行われている。業界で活躍している職業人を講師として招くことや、SDGsの理念を取り入れた授業の実施をお願いしたい。

項目3. 学生の受け入れ、学生支援

評価の基準	自己点検 評価結果	委員の 評価
入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	3	適切3
学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。	3	
学生の学力や学習状況を把握し、補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	3	
カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	2	
留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	3	
学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	3	
学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	
学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	

【評価結果の自己分析】

- ・アドミッションポリシーを基準に面接を行い公正な選考を行っている。
- ・少人数制の授業スタイルのため定員オーバーすることなく入学定員に基づき適正に行われている。
- ・放課後に実習室を開放し担当職員による実技指導等を行い資質能力の修得目標を達成出来ている。
- ・学習の継続に困難な問題を抱える学生に対して、打開策を提案したり最後の最後まで親身になって話を聞き適切な対応を行っている。
- ・学校保健安全法に基づき、年1回の健康診断を行っている。校舎内には保健室も完備している。
- ・経済的な側面に対する支援体制を整備し、学費の減免や分割納付等も含め適切に周知、運用している。
- ・キャリアマップを取り入れ就職支援体制を整備し、適切な周知運用を行っている。

【今後の改善方策】 *自己点検評価結果が2以下の内容について記述。

・担任や教職員による個別相談を行っていて、提携機関の冊子を配布したり関連情報を掲示し環境整備を行い適切な対応はできているが、学内にはカウンセラーの配置や相談室の設置などがいないため、今後はカウンセラーの配置や相談室の設置など学生の相談に対応するための環境整備を強化できるよう検討して行きたい。

【学校評価委員の意見・提言】

・学生の自主学習の支援については、放課後練習を実施しており、とても良い取り組みだと思う。学生が自ら考え、自主的に技術向上を目指せる環境を与えることは学校として望ましい。

・卒業生としては、本校がより多くの人に認知してもらえると嬉しい。

・自主学習は現場に出ても非常に重要なので、学生自身が何をすべきか自分で考えられるように指導して欲しい。

・教員だけでは学生へのサポートの全てを行うことは困難だと思うので、カウンセラー配置等の環境整備の強化をお願いしたい。

・学生募集や選抜方法等に関しては問題ないと思われる。

・学生の健康管理体制や経済的困難を抱える学生に対する相談・支援体制は整えられているが、メンタルヘルスに関しては、今後の改善方策でも指摘されているように「カウンセラーの配置や相談室の設置」等の早急な対応をお願いしたい。

項目4. 教育実施組織、教員

評価の基準	自己点検 評価結果	委員の 評価
教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	3	適切3
教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	2	
学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	3	
教員間で連携、協力体制を構築していること。	3	
学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	2	

【評価結果の自己分析】

- ・資格、要件を備えた教員を確保するために履歴書、職務経歴書を精査し、面接での徹底した見極めや必要とあれば実技試験等を行い適正に運用している。
- ・納得いくまでの会議を行い校務分掌を作成し全教員に共有している。
- ・校務分掌を基に「報告・連絡・相談」を徹底しており教員間での連携、協力体制を構築している。

【今後の改善方策】 *自己点検評価結果が2以下の内容について記述。

- ・教員一人当たりの授業時数はコンプライアンスに基づき規定内で配置しているが、かねてからの人員不足により偏在を是正できずにいる。また、教員の教授力の把握、評価に関しては職階別の研修等を通じて客観的な評価資料を作成するなど整備を進める必要がある。
- 教員の研究活動の取組については、引き続き研究活動に充てる時間や費用について支援体制を構築していく。

【学校評価委員の意見・提言】

- ・衛生関係の科目（食生活と健康、食品の安全と衛生、食品衛生学実習等）を担当する教員を1名専任職員として配置することを求めたい。放課後の質問等、学生指導を考えると1名は必須だと思う。高等専修学校との連携も検討してはどうか。
- ・教員の資質向上のための支援体制を構築しつつ、人員不足対応についても適切な補充がされるように整備をすすめて欲しい。
- ・教員の配置、組織編成等についてはほぼ適切になされている。
- ・会議等で教職員の共通理解を図り、教職員の協力体制のもとに学校運営がされていることは評価できる。
- ・教員研修については、今後の改善方策にもあるように、研修の支援体制を整え、計画的に研修に参加できるようにし、その成果を学生に還元できるようにして欲しい。

項目5. 教育環境

評価の基準	自己点検 評価結果	委員の 評価
教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	3	適切3
インターネット接続環境を整え、学生が必要に応じて情報検索等ができること。	2	
学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	3	
火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	3	
施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	3	
施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	3	

【評価結果の自己分析】

- ・現場で使用される調理器具を設置し、大型調理器具等の使用方法も学べる環境を整備している。
- ・校舎の耐震工事等をして安全対策は適切に行っている。
- ・箇所に消火器を配置しており、水、食糧、簡易防寒具等の災害備蓄品等も確保している。
- ・施設、設備等の日常点検やメンテナンスを行い、消防設備の定期点検も行っている。
- ・異常気象による猛暑で集団調理実習室の室内温度が異常に高く、業者にモニタリングをしてもらい空調設備の取り換え工事を行った。

【今後の改善方策】 *自己点検評価結果が2以下の内容について記述。

- ・インターネットを使っての情報検索等は出来るが、Wi-Fiが使える場所が少ないため今後はWi-Fiの設置個所を増やし接続環境を整えたい。

【学校評価委員の意見・提言】

- ・座学棟の老朽化が懸念される。長期計画を立て、校舎建て替えの準備を進めて欲しい。防災面から見ても必要なことだと思う。
- ・最新技術の導入と、伝統的な基本技術の習得のための器具の整備、バランスの取れた教育環境を整えて欲しい。
- ・火を扱う仕事なので、消防点検や避難訓練など、学生と一緒に実施できると良いと思う。
- ・教育環境の整備、施設設備の点検等に関しては適切に行われていると考えられる。
- ・集団調理実習室の空調設備の不調にも適切な対応が見られる。今後も日常的に点検等を行い、問題があれば対応していく体制を整えて欲しい。
- ・学校は「学生の安全」が第一なので、安全対策や防犯対策には万全を期して欲しい。

項目6. 教育活動の基盤と改善・向上の取り組み

評価の基準	自己点検 評価結果	委員の 評価
学校が策定している事業計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	3	適切3
学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	3	
学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること。	2	
学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	3	
学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	3	
学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	3	
当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	3	

【評価結果の自己分析】

- ・教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられている事業計画書を作成し教職員に共有している。
- ・収支状況を教職員で共有し経費削減を徹底している。その成果は毎年出ている。
- ・学校運営の組織体制を整備し適切な運営が行われている。
- ・学校評価を実施し結果及び改善状況について情報公開している。
- ・学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っている。
- ・当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表している。

【今後の改善方策】 *自己点検評価結果が2以下の内容について記述。

- ・退職者の穴埋めを行うため人員募集を行い、新入職員への新たな指導等、新たな組織体制の整備等を行う必要があるため、職員のコミュニケーション能力を強化し適切な運営が行われるよう構築していく。

【学校評価委員の意見・提言】

- ・学校評価を実施し、結果を公表している点等について評価できる。
- ・組織体制の構築に伴い、新規に人員を採用することも必要だが、若手教職員を育て上げる環境作りも必要不可欠だと思う。
- ・校長が替わり、様々な点において良い方向に向かうことを期待している。
- ・学校評価の実施と、評価結果に基づく改善については、この数年で意思的に行われるようになってきたと言える。
- ・HPでの「情報公開」も改善されている。
- ・SNSやHPを活用して学校の教育活動や学修成果の情報発信も出来ているが、さらに継続的に発信していくよう努めて欲しい。

5. 総評

○創立58年、卒業生数も延べ1万人に達すると思います。この歴史・伝統をもっとHPや学校案内でアピールした方が良いのではないのでしょうか。歴史と伝統は広報材料の1つです。

○校舎の建て替えと共に、定員数の見直しも検討してはどうでしょうか？ 1年制を30名に減員し、技術経営学科を60名（30名×2クラス）に増員しては？ 学校創立60周年事業として検討してはどうでしょう。

○本校の教育理念に沿った教育課程とその実践は、卒業生としてもとても有り難く、心強く思います。今後も技術と心の双方を育むこの素晴らしい校風を維持し、活気ある良い雰囲気のある学校であり続けていただきたいです。

○「卒業まで全ジャンルを学ぶ」という教育の特色のメリットや、オーナーシェフとなっている卒業生の活躍などを積極的に発信して、学校の認知度を高め、入学者の確保に努めていただきたい。

○校外実習や食品ロス、環境保全など、SDGsの理念を取り入れた授業など、特色のある教育を今後も継続して進めて欲しい。

○中期事業計画と当該年度の事業計画に基づいて教育活動を行い、その上で学校評価を実施し、その評価をもとに改善を図るというPDCAサイクルに基づく学校運営が組織的かつ継続的に行われることが望ましい。この数年でかなり意識的に取り組まれるようになったと感じている。ただ、今年度の自己点検評価報告書は、それぞれの項目についての現状の説明が具体的に書き込まれないため、現状把握が難しかったので、この点の改善をお願いしたい。

○高校の進路指導が大学進学に重点が置かれ、専門学校に目を向ける高校が少ないのが現状ではあるが、入学者確保のために、SNS・HP等で学校の魅力や活動を積極的かつ効果的に発信すると共に、高校との連携で関係を深める取り組みをお願いしたい。

○専門学校は2026年度から自己点検評価が義務化され、第三者評価が努力義務化されることになった。評価機関による第三者評価の実施について、織田学園の社会的評価を高めるためにも、2～3年のうちに実施することについて検討をお願いしたい。

以上

織田調理師専門学校
学校評価委員会